

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成22年9月9日 (2010.9.9)

【公開番号】特開2009-41663(P2009-41663A)

【公開日】平成21年2月26日 (2009.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-008

【出願番号】特願2007-207132(P2007-207132)

【国際特許分類】

F 1 6 B 5/02 (2006.01)

A 4 7 B 96/18 (2006.01)

A 4 7 B 87/00 (2006.01)

F 1 6 B 12/14 (2006.01)

【F I】

F 1 6 B 5/02 H

A 4 7 B 96/18 C

A 4 7 B 87/00

F 1 6 B 5/02 A

F 1 6 B 12/14

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月28日 (2010.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明によれば、一方の天板の長手側木口と他方の天板の短手側木口とを突き合わせた状態で連結するときに、連結部材の切欠きの第二辺に平行な端面を第二の収納ユニットの天板の端部に固定された縦板の長手側木口に当接させるとともに、連結部材の垂直片の第二辺側の端面を第二の収納ユニットの天板の長手側木口に当接させることで、連結部材を第二の収納ユニットの天板に対して容易に位置決めすることができ、この位置を保持しつつ連結部材を第二の収納ユニットに対して木ねじなどの固定具で固定することができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

(a) まず、図 1 および図 2 に示すように、連結金具 10 の切欠き 13 の第二辺 11 b に平行な端面 13 a を側板 2 a の長手側木口 2 a L に当接させ、且つ、垂直片 14 の第二辺 11 b 側の端面 14 a をメイン収納ユニット A の天板 1 a の長手側木口 1 a L に当接させる。さらに、切欠き 13 の第三辺 11 c に平行な端面 13 b を側板 2 a の内面に押し付ける。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 2 】

